

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社 北條組）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、研修の実施や相談窓口を設置している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメントを禁止する旨を就業規程に定め、従業員及び協力会社への研修会を実施している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・労働基準法の改正内容を考慮し、社員の労働時間を把握し、長時間労働を抑制する勤務態勢の整備に取り組んでいる									8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・外国人技能実習生及び外国人建設就労者への差別や人権侵害がない労働環境の整備をしている				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・ISO45001の認証を受け運用している ・現場巡視による安全指導に加え、定期的な安全パトロールを実施し、労働災害の防止対策を講じている			3						8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルス対策の方針及び実施計画を策定し、全社員に対して講習会やストレスチェックを実施している			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・多様な人材を積極的に採用し、それぞれの能力や適正に応じた配置を推進している ・シニア社員の実情に合わせた労働環境を整え、エンゲージメントの向上を図っている					5.1 5.5			8.5			10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・職務や職責に応じた専門教育及び資格取得を企業主導で実施している ・職場の各部門で目標を定め、資格取得に向けた勉強会や講習会への参加を行っている				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・関連する法律を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った対応をしている					5.5			8.5			10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・従業員の健康診断受診および二次検診の推進、人間ドック受診や予防接種等の健康増進活動の助成を行い、企業として健康投資に取り組んでいる			3						8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・ISO14001の認証を受け運用している ・事務所、作業所、各部門における廃棄物の排出量を把握し管理している ・特定の産業廃棄物について、通年の削減目標値を設定し、削減に取り組んでいる												11.6	12			14.1		
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・各部門毎にエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している							7.3						13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・各部門毎に温室効果ガス排出量削減の行動を定め削減に取り組んでいる ・建設現場では、排出ガス対策型機械の使用を原則としている							7.2 7.3						12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・各種法令で規定されている有害化学物質の把握及び管理方法(SDSカード入手し、作業開始前にリスクアセスメント実施)を策定している			3.9			6.3						11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・環境に配慮した材料・製品・工法を積極的に採用し、生物多様性環境保全に配慮している						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・土木・建築作業所での材料ロス率の削減、再生材料の使用、産業廃棄物の分別管理を行い、資源の再利用等を推進している											13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水資源の効率的な利用を推進している ・作業現場内に循環装置を必要に応じて用意し、水資源の使用量削減対応を行っている						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO14001の認証を受け運用している ・長野市の「エコ・サクル ゴールドランク」を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・ISO14001の運用により、SDGs推進企業情報サイト等で環境影響の削減や省エネルギー・省資源の実施、環境に配慮した設計の提案環境活動はじめCO2排出量を開示している											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水力発電事業に参画している ・店社工場屋根に太陽光パネルを設置し運用している							7.2					13					
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・グリーンマークやエコマーク製品を優先的に購入している ・再生砕石・再生アスファルト合材、再生プラスチック杭等を調達し使用している											12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・汚職、増収賄、その他いかなる便宜供与もしてはならない旨を就業規則及びコンプライアンス規程に定めている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・インサイダー取引などの不正競争行為を含む社内研修と行動規範の整備を実施している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	・特許・商標等知的財産権の取得及び管理を行う								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「個人情報管理規程」「特定個人情報取扱規程」を定め、個人情報の漏えい、滅失又は棄損の防止と安全管理のため適切な措置を講じている																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・建設材料等について主な調達は国内であり、輸入材料など紛争鉱物の不使用確認を徹底する																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・協力会社との対話を促進し、人権侵害等の取組み状況を確認している				5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	・ICTはじめ建設デジタル技術の積極的な活用を行っており、作業の効率化や生産性の向上による、経営基盤の安定化、人材確保や協力会社との良好な関係を更に進める。 ・年内を目途に登録を進める。			3				8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			（株）北條組独自の各管理規定及びマニュアルを運用している			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			（株）北條組独自の各管理規定及びマニュアルを運用している								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・建築部門では、ZEH住宅（ネット・ゼロエネルギー・ハウス）の提案を行い推奨している						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・建設業の熟練労働者不足に対応するため、ICT技術の活用による生産性向上を目指した施工を推進している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・技術系高校生及び専門学校生等による工事現場見学会などを実施している ・YDC交通事故防止コンクール・安全運転管理者選任事業所交通事故防止コンクールに積極的に参加し、表彰等も受けている ・長野市の消防団協力事業所表示制度に参加している ・関係自治体と調整し、通学路のグリーンベルト工事を自社で行い、児童の交通安全を図っている				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・1998年より創立記念日に合わせ、周辺主要道路のごみ拾いボランティアを実施している				4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・木材は県産利用をする取組みをしている ・長野市のエコ・サークル長野に参加している							8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			・経営理念及び経営目標を明文化し従業員と共有している							8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・ISO14001、45001の認証を受け運用することにより、法令を遵守する体制・仕組みを構築している															16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・ISO14001、45001の運用により社内体制を整備している																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・ISO14001、45001の運用により、ステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している															16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			・ISO14001、45001の運用により、各リスクを特定、評価、運用する体制を整備している																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・ISO14001、45001の運用により、各リスクを特定、評価、運用する体制を整備している																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			・自社の業務継続計画（BCP）を定め、国土交通省関東地方整備局より「建設会社における災害時の基礎的事業継続力」の認定を受けている								9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）		【予定】	【予定】 ・事業承継に関する検討及び対策を行う							8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域貢献活動		工事現場周辺地域にお住まいの方々に、改良事業への親しみを持ってもらえるよう、イルミネーションの設置や地元の歴史を紹介するパネルを展示、住民イベントに協力している				4							11			14	15		17
社会貢献活動		災害時における対策業務についての協定を、国交省（国道、河川）、長野県（住宅、水道）、長野市（上下水道）と締結している				4							11			14	15		17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定